

# 県立広島病院

所在地：〒734-8530 広島市南区宇品神田一丁目5-54  
 電話番号：082-254-1818 FAX番号：082-253-8274 URL：http://www.hph.pref.hiroshima.jp/  
 アクセス：JR広島駅から市内電車「広島港」行き（5号線）で「県病院前」で下車、徒歩3分（その他、詳細はホームページをご覧ください。）



## 病院概要 令和2年4月現在

開設年：明治10（1877）年  
 院長名：平川 勝洋  
 医師数：187人（研修医を除く）  
 研修医数：1年目17人 2年目19人  
 研修医の：広島大学、島根大学、山口大学、愛媛大学、香川大学、信州大学、  
 主な出身大学 久留米大学、佐賀大学、大分大学、鹿児島大学、自治医科大学、  
 川崎医科大学、大阪医科大学、近畿大学  
 病床数：712床  
 診療科目：内科、精神神経科、小児科、外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、  
 眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科・口腔外科、麻酔科、救急科、総合診療科・感染症科、病理  
 診断科



## 病院のアピールポイント

県立広島病院は広島市南部に位置し、広島県民約280万人の中核的、先端的高度医療機関として、専門医療、救急医療、総合医療の三位一体をモットーに診療を行っています。高度化、多様化した医療ニーズに的確に対応するために高度医療機器を装備し、専門医によって先進医療を推進しています。また、医療提供体制の強化、広島県の医療を担う人材の育成と患者サービスの向上、経営の効率化に取り組んでいます。特に救急医療、脳心臓血管医療、成育医療、がん医療については、さらに強化していきます。

## 研修プログラムの方針及び特徴

自由選択科目が40週（1年次5～10週・2年次30～35週）あり、研修医の希望に応じたプログラム設計が可能となっています。  
 月1～2回、研修医セミナーを開催し、外科手術手技研修（縫合、結紮法）、BLS、ICLS、外傷初療、集団災害訓練、小児救急などの体験型研修を履修します。  
 研修医当直では、1・2次救急患者を1年次・2年次研修医がペアを組んで、初期診療をします（内科系、外科系当直医が指導）。

## 初期臨床研修スケジュール

1年次	4週	26週				4週	5週	4週	4週	5～10週
	救急部門 (麻酔)	内科				外科	小児科	産婦人科	精神 神経科	自由 選択科
2年次	8週	4週	5週	30～35週						
	救急部門 (救命救急センター)	地域医療	一般外来	自由選択科						

※小児科（必修）：1年次又は2年次のいずれかで研修  
 臨床研修協力施設：（地域医療）神石高原町立病院、安芸太田病院、県立安芸津病院  
 （救急・リハビリテーション）荒木脳神経外科病院（小児）広島市立舟入市民病院、もり小児科

## 指導医の体制 令和2年4月現在

※（ ）内の数字は、厚労省の開催指針に則った指導医講習会を修了している者の数

	内科	外科	救急 麻酔	小児科	産婦人科	精神科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射線科	その他 診療科
指導医数	61 (35)	44 (37)	20 (16)	16 (12)	8 (6)	6 (5)	3 (2)	4 (3)	3 (2)	5 (2)	6 (5)	15 (15)

## 研修・認定施設（詳しくは、ホームページをご覧ください。）

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本呼吸器学会認定教育施設
- 日本外科学会専門医修練施設
- 日本小児科学会専門医制度研修施設
- 日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- 日本麻酔学会麻酔科認定病院
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- その他多数の学会の認定施設に指定されています。

## 募集要項（令和3年4月採用）

### 試験概要

- 採用予定数：14人
- 出願期間：令和2年6月29日（月）～7月16日（木）
- 出願書類：応募申請書（指定様式）、卒業見込証明書
- 試験日：令和2年7月28日（火）、8月3日（月）のいずれか1日
- 選考方法：面接（Web面接）、筆記試験（小論文）、書類審査  
 ※小論文は、応募申請書と併せて事前提出

### 当直

- 当直：有 3～4回/月
- 当直手当：21,000円/回
- 勤務時間：宿直 17:15～翌朝8:30  
 日直 8:30～17:15
- 当直後の勤務免除：無

## 指導医からのメッセージ

県立広島病院は2020年度から新しいプログラムをスタートし外科、産婦人科、小児科、精神神経科、麻酔科及び内科系も多くを必須としています。また、内科外来の初療をすることで、患者の初期対応、診断から治療へのプロセスを身につけ、一人でPrimary careができる医師になることを目指します。そして各科研修では上級医、専門医に報告・連絡・相談ができコミュニケーションスキルを身に付けることに重点をおいています。その中で多くの手技や技術を行い、熟達した技能を身に付けることが可能となります。次に社会人として礼節のある医師になること。挨拶、礼儀、規律を守り、患者家族に優しく接するなど、人として礼節のある態度を身に付けることに努めます。さらに医師同士、看護師、薬剤師、技師、栄養士などの横のつながりを深め、栄養サポート、感染防御、緩和ケア、退院支援チームなどの診療領域・職種横断的な活動に参加、児童思春期精神科領域、薬剤耐性、ゲノム医療、社会的要請の強い分野の研修を行う機会を設けています。2年間の研修期間中の評価には360度評価を用いフィードバックが行われあらゆる分野に精通し熟練した医師の育成に努めます。ぜひ当院を研修先に選んでください。  
 医師臨床研修プログラム責任者 時信 弘



### 処遇

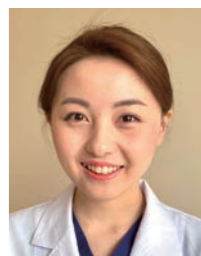
- モデル給与：1年次 4,500,000円  
 （年額）2年次 5,000,000円
- 手当：当直手当21,000円/回、時間外手当など
- 勤務時間：9:00～15:45までを基本とし、4週間116時間15分以内で勤務時間を割り振る。
- 休暇：土日、祝日、12月29日～1月3日、有給休暇20日、夏季休暇3日など
- 社会保険：健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険

### 設備

- 研修医用宿舎：有（単身用9,640円/月、世帯用35,670円/月）
- 図書室：有
- 研修医室：有
- 院内保育：有

## 研修医からのメッセージ

当院は診療科が幅広く揃っており、common diseaseから高度先進医療まで多種多様な症例が経験できます。また地域に密着した病院でもあり、他病院や診療所、施設との地域連携の大切さも実感できます。そのため内科を志望する人だけではなく、さまざまな科を志望する人に適した環境です。内科では内科救急診療部により、内科全体の救急疾患を経験することができます。また、内科救急以外の外科救急、重症外傷や急性中毒などの外因性の症例も多く学べます。当直ではプライマリケアを学ぶ機会にも恵まれています。1年次と2年次で協力してwalk inから2次救急患者さんの対応にあたり、問診、診察、諸検査を経てアセスメントをし、上級医にプレゼンテーションを行います。当院での研修は屋根瓦方式を重視しており、1年次、2年次の連携を始め、上級医にも相談しやすい環境や教育制度が整備されています。研修医は同期も1学年20名と多く、互いに勉強会を開くなど、情報交換をしながら切磋琢磨して日々の研修を行っています。以上のように、当院では非常に充実した研修生活を送ることが出来ます。是非一度、当院へ見学にお越しください。  
 2年次研修医 山本 彩華



## 働きやすい勤務環境PR

- ・経験豊富で熱心な指導医が多く、いつでも丁寧な指導が受けられます。（診療科間の垣根なく、相談しやすい環境です。）
- ・臨床研修支援室を設置。個別相談にも対応し、2年間の初期臨床研修をバックアップします。
- ・院内保育所も併設されており、ワーキングママ・パパも安心して就業できます。
- ・病院から徒歩圏内に研修医宿舎を完備。on callでも、すぐ駆けつけられます。



## お問合せ先

申込担当部署：臨床研修担当（総務課内）  
 事務担当者：後藤 百本  
 E-mail：hphsoumu@pref.hiroshima.lg.jp